

公表

## 事業所における自己評価結果

事業 ディスカバリークラフト

公表日 2026年 2月 18日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		療育スペース、学習スペース、個別対応スペースが設置されています。空間にも余裕があり、安心して過ごしていただける環境を整えております。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		余裕を持たせた職員配置を行っております。個別での配慮が必要なお子様には、個別でスタッフがフォローできるような体制を整えています。	稀に、送迎時間は一時的にスタッフが少なくなる時があります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		視覚的に分かりやすいように視覚的情報を掲示しています。聴覚過敏や注意欠陥の特性に応じた環境上配慮をしています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日決められた時間に掃除や除菌を行っており、気持ちよく過ごせる環境を整えています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		お子様のその日の様子に応じて、集団に入ることがしんどい場合などには、集団から離れた空間で過ごしていただけるようにスペースを設けております。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		職員の意見を取り入れた上で、毎日業務目標の設定と振り返りを行っています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表の内容を十分に吟味しながらスタッフ間で共有し、業務改善につなげて参ります。	今回見えた課題にも対応し実践して参ります。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に数回の面談や日頃のフォローとして都度意見を把握出来るように毎日共有の場を設けています。その上で取り入れる改善案は実施につなげています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	保護者様や従業員の意見を取り入れ、必要に応じて設置を検討します。	
	# 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内で定期的に研修の機会を設けています。一部のスタッフは参加の機会を増やし、内部へ報告を行なっています。またzoomで受けられる研修などの案内は行なっています。	必要に応じて業務の調整を行い、一部のスタッフ以外の外部研修への参加も行って参ります。
#	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページ上で公表しております。毎月の具体的なプログラム内容については、個別に保護者様にご連絡させていただいております。	
	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		定期的のアセスメントとモニタリングを行い、サービス担当者会議の中で情報の共有検討を行い、個別支援計画の作成に活かしています。	
	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		スタッフが全員集まる日に支援会議を毎月定期的に行い、情報の共有をし、個別支援計画の作成に活かせるように努めています。	不在スタッフが出た場合、タイムリーな共有手段をより具体的に用意して全体の資質向上に繋がります。
	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画作成時に共有検討するミーティングを定期的に設けています。	不在スタッフがいる場合、確実な共有手段を用意して実践の資質向上に繋がります。

適切な支援の提供	#	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○	フォーマルな検査結果と、日々の療育の行動観察をあわせて、多角面な視点からお子様のアセスメントするように心掛けております。	
	#	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	令和7年度厚生省ガイドラインに沿った支援計画に基づいて設定しています。	
	#	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	定期的なミーティングの時間を設けており、チームで意見交換を行うようにしています。	
	#	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	定期的なミーティングの中でその視点をもって意見交換を行うように工夫しています。	
	#	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	ミーティング時に情報の共有を行って、支援計画へ結び付けています。	
	#	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	時間を決めて、対応するスタッフ全員で毎日打ち合わせを行うようにし、役割分担などの共有をしています。	
	#	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	時間を決めて毎日打ち合わせをし、振り返ることで次回のプログラムの改善点などの共有しています。	
	#	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	必ず記録を取るようしております。	
	#	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	情報の共有を行い、定期的なモニタリングを行っています。	
	#	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っています。	定期的に関係スタッフと見直します。
関係機関や保護者との連携	#	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	お子様が自己決定できるように選択肢を提供するやりとりを通して選択の機会を設けております。	
	#	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	児童発達支援管理責任者と体制が取れる際には担当者が参画するように調整しております。	
	#	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	連絡が、いつでも取りあえるように体制を整えています。	
	#	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	必要に応じて連携、相談、情報共有を行えるようにしております。	
	#	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	弊社の児童発達支援事業所とは行っており、また他の機関との連携の機会も数箇所行いました。	必要に応じて、今後もご対応させていただきます。
	#	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	弊社で移行を行う場合が多いのでサポートシートや支援計画の内容などを共有しながら情報提供に努めています。	
	#	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	外部の講師を招き、研修を行う中で評価をいただくことができました。	その他研修機会の提供ができるような体制づくりを法人全体で検討してまいります。
	#	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	事業所に于ける他の地域や他校のこどもとの交流があります。	今のところ他の児童クラブとの交流の必要性は特になく考えております。
	#	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	各部会に定期検討会に参加しています。	
	#	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	定期的にLINEで様子をお伝えしております。	必要性やニーズに応じて、保護者様との電話相談や面談の機会を今後ももってまいります。

保護者への説明等	#	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	保護者会やフェスティバルを開催しましたが、見学会が中心となりました。	今後は年に数回は事業所にて保護者会を行い情報交換や相談の機会を積極的に作りま す。ペアレントトレーニングについても実 施検討してまいります。
	#	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	見学时や契約時に丁寧な説明を行うように心掛けております。	
	#	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	保護者様の意見を踏まえながら放課後等デイサービス計画を作成しております。	
	#	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	計画の内容を説明しながら同意を得るようにしております。	
	#	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	モニタリングの際にお話をお聞きさせていただいております。	
	#	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○	法人全体のイベントとして、ご家族で参加いただく機会を設けさせていただいております。自施設の他事業所との交流会を持ち、未就学のお子様も一緒に、ご家族様向けの保護者会も実施し保護者様同士の交流を持つ、きっかけづくりをすることができました。	
	#	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	契約時に保護者様に相談や苦情対応窓口についての話をしている。	
	#	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	定期的にHPや、SNS等を通して活動内容等を発信して子ども達の日々の過ごしている様子を知って頂けるように取り組んでいます。	
	#	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	研修の際に、個人情報の取り扱いについて全てのスタッフが学んでいます。	
	#	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	子ども達への情報の伝達は、視覚支援や本人が理解しやすい方法を通して、伝わりやすいように配慮しています。	
#	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	地域の方に知って頂くために、相談支援事業所や県の機関、同業者を見学やイベントにお誘いをしています。	地域の住民の方にまでは招待できておりま せん。今後、必要に応じて検討して参りま す。	
非常時等の対応	#	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	研修計画に基づいて毎年実施しています。	周知方法については、SNSやアプリで行えるようにより積極的に取り組んでまいります。
	#	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	研修計画に基づいて毎年実施しています。	保護者さまへの実施報告を、SNSやアプリや記録で行えるようにより積極的に取り組んでまいります。
	#	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	契約時に丁寧な聞き取りを行うとともに、生育歴記録等を共有頂き再度確認をしています。	
	#	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	保護者様とご相談の上、必要に応じて医師の指示に基づいた対応を行っています。毎日、アレルギーの児童の参加について確認しています。	
	#	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	研修計画に基づいて毎年実施しています。	
	#	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	年間の安全計画を立てて、それに基づいて取組んでおります。	取組内容について周知徹底が不完全でした。取組内容について契約時の丁寧な説明に加え、研修を実施した場合の情報発信にも努めてまいります。
	#	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	些細なことでもヒヤリハットを共有できるように全スタッフが周知し、環境構成の改善や、スタッフの対応力の向上へと繋げる取り組みをおこなっています。	

#	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	定期的な研修を毎年実施しています。	
#	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	現時点で身体拘束の事例はございませんが、万が一必要な場合は、規定通りに対応させていただきます。身体拘束についての研修も毎年実施しています。	